

情報システム・バックアップオフィス研究会（ITB0 研） 2014 年度 第3回 議事録

1. 開催概要

- 開催日 : 2014 年 10 月 14 日（火） 16:30～18:30
- 開催場所 : BCA0 東京オフィス
- 進行役 : 大塚（：座長）
- 議事録作成 : 大塚（：座長）
- 出席者数 : 7 名（出席者名は末尾参照）
- 資料 : [2012 年ロンドンオリンピックのセキュリティ～我々の経験をご紹介します]

2. 議事内容

（1）はじめに（報告：大塚）

秋のセミナーシーズン、外部のイベントがたくさん行われています

- ・ IPA 主催グローバルシンポジウム 2014 @東京ミッドタウン（10/22）
- ・ 情報セキュリティ EXPO 秋@幕張メッセ（10/29-10/31）
- ・ ISACA 主催 H26 事務年度金融モニタリング基本方針；特に IT ガバナンスに関して
@日本教育会館一ツ橋ホール（10/28 19:00-）

ご都合があれば積極的に参加されてはいかがでしょうか？

（2）ご連絡事項（報告：大塚）

- ① ITB0 研究会のメンバーは現在 16 名の登録（後藤富雄様、木村信弥様が新たに参加されました）。
- ② BCA0 運営会議（9/30 開催）で BCA0 会員増加問題について意見が交わされました。
今後、高橋副理事長を中心に継続検討することになりました
- ③ BCA0 10 月度勉強会；10/28 湯浅さん（産学官による地域中小企業への BC 普及）、丸谷さん（行政の BCP・BCM の整備の方向性）@国立オリンピック総合センター
- ④ 首都直下地震に対応した代替輸送訓練等の共催開催について、10/9 東京、10/27 名古屋、11/25 東京、11/28 名古屋。

主催：D-PAC プロジェクト（特定非営利活動法人危機管理対策機構）

北陸信越運輸局、北陸地方整備局

以上、奮ってご参加ください。

（3）本日のご議論事項

①月例会におけるリモート接続での会議通話について

大阪地区から参加する場合 BCA0 大阪事務所利用に関して、事前に座長、（伊藤副座長、山口氏）に連絡する。他の会議と日程がぶつかっていないかどうかや、鍵の受け渡しについて確認する。大阪事務所からはポリコムで参加可能。

②Skype での参加の場合は、その利用に関してどこでも可能だが、東京オフィスの会議室の全員の音声をどのように拾うかが問題になる。高性能集音マイクの利用や会議室参加者でも PC を持ち込んで Skype を使う、ワイヤレスピンマイクの利用と PA 装置を設置して Skype で拾うなどいくつかのアイデアを継続して検討する。

③ITB0 研究会活動費について

確認したところ今年度の予算はなし。都度申請し BCA0 事務局で承認になるので必要な場合希望を出して欲しい。関西支部との交流とか参考資料の購入など例年に準じた活用を考えている。

④BCA0 アワード 2014 募集について

9 月 29 日に発表された BCA0 アワードについて、今年は（2015 年 3 月に）仙台で開かれる国連世界防災会議とジョイントする。BCA0 として例年以上に積極的に参加募集し BCA0 全体で選考することとなった。

以下、候補となる取組みのアイデアのディスカッション。

- ・江東区では小回りが利く自転車を携帯中継局としていざというときに使えるようテストしているらしい。

- ・EV や Hybrid Car を使って非常時の無線中継基地局とする構想が進んでいる。車載 Battery が生きているうちは、車として使えなくても、車間無線で Hop しながら中継していくことによって、生きている地上基地局までたどり着くことができる。携帯の無線局が破損した場合でも携帯等が使える技術として考えられる。メーカー、国交省で検討
- ・銀座とか丸の内とか東京の一部の地区で展開されている Free Wifi と同じ仕組みを各地に充実させれば災害時に誰でも利用することができそうである。個々の無線局は脆弱であるが、コストが安く設置が楽なのでいたるところに数が増えれば使えるところも多くなる。

欧米では Free Wifi が主流なので東京オリンピックを目指して多くなりそうである。

⑤ペンテスト、人材育成計画についての追加情報

前回、後藤氏から紹介いただいた、先進的なグローバルリソースを使ったサイバー攻撃ペンテストサービスと専門家教育サービスの実施計画と具体的な内容をフィードバックする。先日山口氏（FIXED STAR 社）と富高氏（EXCEED 社）にヒアリングする機会を得て直接質問することができた。（詳細は割愛）

3. 本日のプレゼンテーション・意見交換

テーマ「2012 年ロンドンオリンピックのセキュリティ～我々の経験をご紹介」

2014/2/19、東京イイノホールで開催された IPA サイバーセキュリティシンポジウム

2014で講演された、オリバー・ホーア氏（氏は、2012年ロンドンオリンピックにおける情報保全とサイバーセキュリティーの最高責任者であった）を教材に取り上げた。

取り上げた趣旨は、2020年東京オリンピックは将来の日本の安心、安全なサイバー空間を確保するための大きなきっかけとなることは間違いない。2012年ロンドンで起きた Factを知って、現在を理解し、将来（2020年東京オリンピック）を占いたい。

※解説の内容(大塚担当)については、当日アジェンダや議事メモを参照のこと。

以下、議論のポイントを列挙：

- ・英国政府は社会保障費も削られる厳しい緊縮予算の中でも、毎年確実に対策費用を予算化し、かつ増やした。政府上層部のサイバーセキュリティーに対する理解とリーダーシップが感じられる。一方で日本の現状は、掛け声だけで実効性が感じられない。

日本の現実にはセキュリティスタッフが質量ともに全く足りておらず、効果的な対策の具体化および確実な実施が遅れていると認識する。

→来年は現在国会で審議中の「サイバーセキュリティ基本法案」は成立すれば内閣総理大臣の直下にサイバーセキュリティ戦略本部が設立され国の行政機関や独法に対し実施権限を持つ（権限とは、サイバーセキュリティ戦略案の作成、実施推進、対策基準の作成、および評価、監査の実施、対策施策の評価、など）。内閣府情報セキュリティセンター（NISC）は発展的に解消される（今は事務局機能のみ、強制権限なし）。そうなれば期待できるか。

→安倍さんが5月に訪英して英国からオリンピック運営に関するアドバイスを得る事に合意した。（日英協定、日英サイバー協議合意）

・2012年ロンドン大会では類を見ない公式サイトの閲覧数、サイバー攻撃数、インシデント発生数であった

→ 2020年東京オリンピックでは、攻撃回数、攻撃方法、機器構成の多様化等々によりこれ以上の事態が想像できる。

→ まだ存在しない新しいテクノロジーが使われており、それらに対するサイバーセキュリティ対策が必要となるだろう

・サイバー・セキュリティに対するリスクは単なるITの問題に止まらない

→電力供給の監視、制御、試合結果の集計、発表、放送の送信など影響範囲は広く、影響は深刻。世界同時にリアルタイムで情報を共有してしまうため、（たった30秒の停止でも国の威信に大きく影響する）Reputational Risk（風評被害）が、今回最大のリスクと考えている

・23の戦略的リスクをNISCで特定。（サイバーテロ、オンライン詐欺等のサイバー犯罪、ウイルス感染、サイバースパイ行為（標的型攻撃）、浸水・猛暑による環境的影響要因、インフラやハードウェアに対する破壊、盗難など物理的要因、ハクティビズム他。）このうち（Anonymousのような）ハクティビズムを最重要リスクとした。

実際23のうち12のリスクが大会中に発生。予期しないリスクは発生せず。

重要なことは見直しと継続的な再評価

→予期しないリスクが発生しなかった事は評価に値するものの、もし想定外リスクが発生した場合の対処はどうしたのだろう？

→リスクアセスメントは、通常国レベルで行われている方法と同じように（日本でいえばNISCに相当する機関が実施）行いこれをかなり前から繰り返し実施している。

日本でも2020年に向けてすぐに着手しなくてはいけない状況だが、今どうなっている？

→英国の成功体験を鵜呑みにした計画立案、進捗管理、対策構築ではいけない。

きちんとした責任体制の中で確実に実施することである。

・早い時期から、大臣を巻き込んだブリーフィングやテスト、訓練、演習を実施した。大臣が関与することによって官民全体の協力体制が出来て強力的に推進することが可能。

→早く着手して早すぎることはない。日本では文部科学大臣が責任者である。しかし現状は遅れている印象を受ける。

→2019年のラグビーワールドカップ日本開催がセキュリティ対策の完成ターゲットになる。これを東京オリンピックの本番リハーサルと捉えても良いだろう。

4. 2014年度 ITBO研究会の日程

	開催日		時 間	場 所
次回		11月18日（火）	16:30～18:30	BCAO 東京オフィス
		12月9日（火）	16:30～18:30	BCAO 東京オフィス
	2015 年	1月13日（火）	16:30～18:30	BCAO 東京オフィス
		2月19日（火）	16:30～18:30	BCAO 東京オフィス
		3月10日（火）	16:30～18:30	BCAO 東京オフィス

次回もまた、サイバーセキュリティについて Fact の収集と共有を行う。

事前に ML にてディスカッションを展開するので積極的に参加して欲しい

5. 2014年度 ITBO研究会会員（敬称 略）

No.		氏 名	参加	所 属
1	座長	大塚 純一	○	
2	副座長	関山 雄介		大成建設
3	副座長	伊藤 高信	○	FUN Inc.
4		近藤 隆一	○	富士通エフサス
5		岡 伸幸		ソフトバンク BB
6		吉川 明人	○	NECネクサソリューションズ
7		安齊 隆正		富士通エフサス
8		海田 雅人		東京共同会計事務所
9		西出 三輝		損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント
10		野原 英則		京セラ
11		宮島 正孝		セイコーエプソン
12		山口 孝一	○	IIJ
13		森口 泰樹		AIG
14		加藤 誠		日立コンサルティング
15		後藤 富雄	○	イマジネーションテクノロジーズ
16		木村 信弥		株式会社 ディー・オー・エス
	オブザーバー	伊藤 嘉浩	○	キングフィッシュコミュニケーション

以上